

社長。パトロール

リモートで品質確認

中央道・舗装補修現場で

大成ロテックの西田社長

大成ロテックの西田義則社長は3日、ビデオ会議システムとウェアラブルカメラを利用し、NEXCO中日本発注の「中央自動車道多治見管内休憩施設舗装補修工事（2020年度）」の現場でリモート安全パトロールを実施した。



「写真。安全面の点検だけでなく、気になる施工個所の画像を大型モニターにアップで映し出し、品質や出来栄なども確認した。」

西田社長は、パトロールに立ち会った協力会社事業主から要望や意見を聞いたほか、建設キャリアアップシステムの積極活用を呼び掛けた。講評では、工事担当者に対して、新型コロナウイルス感染症対策の積極的な取り組みや資機材搬出入時の第三者災害防止対策、地下埋設物損傷防止に対する取り組みなどを確実に実施し、無事故・無災害で品質の良いものを納めるよう指示した。

同社は、現場の安全・環境・品質の確保を目的に、緊急事態宣言期間でもリモートパトロールを継続実施している。今後も、3月上旬までに全国10支社の主要現場を中心に実施する予定だ。